

市内小中学校 広がる感染 感染拡大をとめる措置を！

新型コロナウイルス（オミクロン株）の感染が豊中市内の小中学校にも拡大しています。

豊中市のHPには学級休業になる学校が掲載されていますが、急増しています（1/28）

40人クラス5人陽性でも学級閉鎖にならない！

休業基準を緩和

豊中市は1月24日から「学級休業等の基準」を変更しました。

クラスで複数人の陽性者が出て学級休業にならない、さらに保健所業務の逼迫の中で、無症状者のPCR検査を実施しない（1/19以降）こと

になりました。

豊中市の変更された基準では、防げたはずの感染拡大を初期の段階で止められませんか。検査が逼迫し、確定にも時間がかかり、陽性者が15%に達した時には、すでにかなりの感染が広がっていると考えられます。

オミクロン株は、軽症・重症化しにくいといわれています。しかし、38〜39度の高熱が出て、かかりつけ医に行っても「まずは保健所に連絡してください」と言われたり、「いくつもの病院を回っても診てもらえなかったり、そんなケースが生まれています。また、小さな子どもをかかえたシングルを家庭

で母親が感染し、どうすればよいのかという声が学校に寄せられているという状況も生まれています。

また、教職員の感染や濃厚接触者も増えており、出勤できない教職員が多数生まれています。自分のクラス以外のクラスへの授業に応援に入る、また、

これが感染拡大をとめる基準としてふさわしいのか

学級休業基準

豊中市 クラスに陽性者15%
【1/24より】

大阪府 クラスに陽性者+濃厚接触者 複数(15%)
【1/26より】

★コロナ対応の対応基準 豊中市 1月24日まで

同一学級内に複数の陽性者が確認された場合は、5日～7日程度

同一学級内の陽性者が1名であったとしても濃厚接触者が多数特定された場合は、5日～7日程度

➡1月24日変更

概ね15%以上の人数の陽性者が確認され、当該学級等に多数の体調不良による欠席者も確認される場合

大阪府基準 1月26日変更

直近3日間の陽性者及び濃厚接触者が学級において複数（15%）確認された場合、原則3日間

感染追跡状況調査等、管理職も含め、極めて困難が生じています。

緊急の申し入れ

全教豊中は1月28日に市教委に「感染第六波における学校での感染拡大から子どもと教職員を守る」緊急の申し入れを行いました。

○感染急拡大の中、陽性判明が1人出たら、3日間程度、学級閉鎖をして経過観察すること
○複数学年の学級閉鎖に

なったときは、学校閉鎖について検討すること。
○当然のことながら個人情報保護は厳守の上で、感染状況についてクラス保護者へ必要な情報を知らせること。

○教職員に定期的な検査を行うこと。特に学級閉鎖が出た学校はすぐに教職員に検査を行うこと。教職員の中で感染を広げないため抗原検査キットを必要数学校に届けること。
学校の現状を直視すること
を市教委に求めます。

教え子を再び戦場に送るな！